丸山湿原群保全の会会報

（第 149 号）

発行日：2019 年（R1）12 月 18 日　編集／発行：丸山湿原群保全の会
〒669-1211　宝塚市大原野字炭屋 1-1　西谷地区まちづくり協議会事務局内
TEL/Fax0797-91-1788
090 - 1895 - 8061（今住）
E-mail：maruyamashitugengun@gmail.com

年末を迎えています。時間の経つのがまた早くなりました。時間をコントロールするのは三次元世界では不可能なこと。どう焦っても仕方がありません。限られた時間をどう生きるか。毎年考えてしまいます。結局無為な時間を過ごしてしまっていますが。

「ゾウの時間ネズミの時間」という本によると、体の大きさや種によって時間？の流れも違うようです。早く亡くなった方を「生き急いだ」ということもあるようですが、やはりその人はその人の中で時間（人生）を全うしたのではと考えてしまいます。

地球温暖化に関する「COP25」がスペイン（チリから急遽変更）で開催されました。ルール（パリ議定書の実施）がまとまらず日程を約２日間延長。それでもまとめきれず先送り内容が多数。人間のせいで自分の時間を全うできない生き物が多数生まれてくるのではないでしょうか？

別の意見もあるようです。人類自体が生き急いでいる！地球の一生から考えたら何の問題もない。人類を含む種の数を調整しているだけかも。

（今住　12 月 17 日作成）

定期活動★11 月 24 日（日）ササ刈り作業　インフォパック設置　湿原観察　７名で活動

前回の作業に引き続き、**竹筒ポストから湿原までのササ刈りを実施しました。ただし旧道です。**道は荒れていますが、やはり旧道の方が高低が少なく利用しやすい。帰りは新道を使っています。**一般利用者がどちらを優先しているのかは不明。印象では旧道が多いような気がします。**これも問題ありか？

刈り取り中のササ

刈り取り後　下にはアリマコスズ

アリマコスズの最も多く観察できるところ。**ネザサを中心にできるだけアリマコスズを刈り取らないように作業を進めました。ネザサは丈が高いので刈り取るととてもすっきりしたロケーションになります。一段とアリマコスズが映えるようになりました。**新道の方も少しスッキリさせなければと相談しています。旧道・新道利用含めご意見お願いいたします。

それから**宝塚市より支給品**をいただきました。革手袋・インフォパック・スタンドルーペ・ソーチェーン等。

宝塚市からの支給品

「インフォパック」はずいぶん前から導入を計画していたのですが怠けていました。インフォメーションパック？の略かと思いますが、パンフレットなどを野外において配布で

視点場に設置　インフォパック

きる優れものです。武田尾の「桜の園」などにも設置（櫻守の会）されています。

駐車場からの入り口付近。竹筒ポスト。第１湿原視点場の計３か所に設置。パンフレットは数の問題もありますがすぐ無くなるようです。まめに補給していきます。**湿原を中心としたマップがあればいいのですがね。俯瞰図のような･･･。どなたか才能のある方作っていただけないでしょうか？**お絵かき教室通おうかな･･･

現在のパンフレットは高級仕様ですので、単価の安い気軽なものを作成する必要ありとの意見も出ています。こちらもご意見お願いいたします。

湿原ですが、左上の写真の背景を見ての通り茶色一色に。完全に枯れる前の赤茶という方がいいかもしれません。**ウメバチソウ（梅鉢草）**は少しだけまだ花を咲かせていました。種（たね）も順調に生育？中でした。**湿原内もいよいよ刈り取りシーズン到来です。**「あ～しんど」と思ってしまいますが保全のためと闘志がみなぎります。たいしたことはしませんが･･･

カケスの羽根と羽毛

カケス（フリー素材より転載）

もう一つ、入口（駐車場）からか入ってすぐに**美しい羽根が。たくさんの羽毛とともにありました。カケス（懸巣）の羽根と意見が一致。カラスの仲間で鳴き声を「ジェーイ」と「聞きなし」で表現するそうな。実際聞いてみると「ギャー」。（主観です）**ヒヨドリを一回り大きくしたぐらいの鳥です。山を歩いていると時々この羽根を見つけます。何かに襲われて食べられたのか。自然は厳しいねえ。

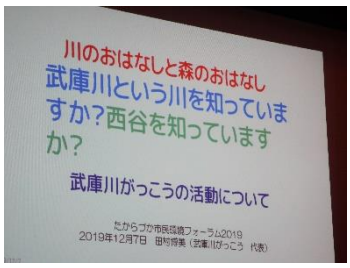
ウメバチソウ　子房が？

宝塚環境パネル展・フォーラム　**★11 月 29 日～12 月７日　宝塚市立東公民館**

恒例の環境フォーラムです。パネル展示は１週間。最終日にはホールでの発表と講演。**昨年は「本会の発表」と「西谷小学校の環境学習報告」でした。**講演は「エシカル」の話。

今年は、西山小学校（劇）と売布小学校（発表）。**構成団体発表は「武庫川学校」の田村代表による「川のおはなしと森のおはなし」。武庫川における集水域「西谷」の役割を中心に、いかに西谷の環境保全が重要かという内容でした。**

西山小学校の劇発表



武庫川学校の発表

講演は**「ざんねんないきもの事典」の著者、丸山貴史さん。監修の今泉忠明さんばかりに目が行きますが、実はこの人が書いています。演題は「ざんねんないきものから学ぶ生物多様性」。とにかく興味を持ったものをとことん突き詰める。そこから見えてくる真実と面白さや感動を講演。**「舟を編む」という「国語辞典を作る」小説がありましたが、それとはまた違う世界がありました。ネーミングが衝撃的で学校の図書館にも多く入っているのか、内容を知っているような子どもたちが質問の全てを独占しました。**写真撮影は禁止のため画像はありません。悪しからず。**大人も質問したかったけど･･･。**しかも大入り満員！関係者の皆さんご**お疲れ様でした。

売布小学校の発表

そうそうパネル展です。**今回は少し趣向を凝らしました。実物展示。珍品クビオレアリタケ（冬虫夏草）とさらに珍品アリノシロタケ（仮称）です。「脳を支配」と題し菌類の不思議を紹介。もう一つは、「ややこしい名前」として**オオウラジロノキ（木本）・ウラジロノキ（木本）・ウラジロ（シダ）**を実と葉を使い紹介しました。**準備不足（イメージ先行型思考）の関係でうまく行ったかは？？？しかもトラブルまで発生しました。

ウラジロが美しかった１日目展示

クビオレアリタケの解説写真

冬虫夏草は写真を解説付きで展示。その下に珍品２種の付いた枝２本を一輪挿しに入れて置きました。細かいものなのでスタンドルーペを設置。なかなかの出来です。

冬虫夏草はマニア（コレクター）が多いということなので盗難？と考えたのですが、そこは純朴な私たち。大丈夫と確信していました。**ところが･･･真実はよくわからないのですが、枝が折れクビオレアリタケやアリノシロタケは落ちたりなくなったりしていました。私たちもくびおれ状態。**

珍品２種　実物展示　ルーペ越し

興味を持った子供たちが触ってぐちゃぐちゃになった。もしくは持ち帰ってしまったと思うことにしました。次回もし展示するならもう少し工夫が必要です。もう一つはウラジロ。飾ったときはツヤツヤ。朝採りですから。が、すぐシワシワ。わかってはいましたが、何度か交換も必要だったかも。説明ももう少しわかりやすく明確にと思いました。

フォーラム後のパネル展示会場

少し愚痴になりますが、展示用机が公民館利用者の机として机上のものをどかして使われていた事実。学習に普段使っている学生のみなさんの机と場所をお借りしているのですが、少しマナーが悪いところも。それでクビオレアリタケも破損したのかもしれません。利用者には迷惑だったのでしょうが、それぞれの立場を理解できればと思います。管理者の方よろしくお願いします。

定期活動★12 月 14 日（土）定期活動　基礎調査　観察　ごみ回収　外来種除去　８名で活動

氷も張るようになってきましたがやはり気温は高め。雨も少なく EC は高めに推移しています。PH についてはやはりよくわかりません。ほぼ中性。一般的には弱酸性といわれていますが･･･微酸性よりも中性に近いような場合が多いと思います。

目的	市内	市外
丸山	44	39
ハイキング	34	37
その他	17	30

来場者数　計 201 人
（竹筒ポスト人数）

場所	時間	気温【水温】	電気伝導度（EC）	PH
入口	10：17	10.2℃		
第３湿原	10：45	【8.0℃】	44.3μS/cm	6.9
視点場	11：05	12.3℃	44.2μS/cm	6.5
第１湿原	11：15	【6.3℃】	40.3μS/cm	6.8
第２湿原	11：46	【6.0℃】	46.0μS/cm	6.9

湿原の様子

岡山ガイド研修ツアー以来と思われる高校生会員の参加がありました。しかも大学受験を乗り越えて。進学先は某県立大学。推薦を勝ち取り試験も無事にクリア。兵庫県外に下宿（古い言い方か？）するそうで、退会の連絡も兼ねてかと思いきや。会員続行！しかも長期の休みには活動参加してくれるそうです。うれしくて思わず涙が･･･出ませんが、力強い握手を交わしていました。

わかる？あふれるポスト

気温計測中の若手№1 と母

湿原へ行く道々アリマコスズ（有馬小篤）などササの見分け方（少し怪しい）の説明を聞きながら観察活動に参加していました。頼むで･･･何をや？

アリマコスズが美しい

さて本題、竹筒ポストは人気を復活。あふれんばかりの小石が入っていました。ポスト自体のキャパが小さいのか、小石が大きすぎるのかもう少し手直しも必要なようです。あくまでも目安のポストですけどね。インフォパックのパンフレットは空。補充しました。前回このポストの看板にインフォパックを付けようとしたのですが、ドライバーがなく簡易に針金で止めていました。今回はとドライバーセットを持参。「さあ止めてください」とお願いしたところ、なんとプラスドライバーのみ無い！何をやっているのやら。次回に回すとして、また針金で吊るしました。竹筒ポスト伝説の「説明用紙」も水が入り交換と思って持ってきたのですが、これもやはりイメージ先行で失敗。変な掲示になっています。年内にはかならず改善いたします。と心に誓う今回でした。知らんけど･･･その後環境フォーラム展示で利用した「オオウラジロノキの実」を戻しつつ（散布）基礎調査。メリケンカルガヤ（米利堅刈萱＝要注意外来生物）を抜きながら作業の確認等行いました。

蹄で踏み荒らされた裸地

気になるのは視点場付近の向かいの裸地。蹄で踏み荒らされています。イノシシなのかシカなのか不明。昨年もありました。糞（ウンコ）があればすぐわかるのですがどちらかは断定不能。掘り返しが無いのでシカ説が有力ですが、同じような踏み荒らしが田んぼでも見受けられます。そこには大きなウンコが。イノシシでした。さてどちらでしょうか？適度な攪乱でお願いいたします。

クマザサ？の話

お正月が迫ってまいりました。クマザサ（隈笹）を松飾りに使う方もおられると思います。アリマコスズもクマ（隈）ができるのでクマザサ？でしょう。が、本当の（種として）クマザサは西谷にあるの？と思ってしまいます。西谷によくある大きなクマザサらしきもの。調べてもらいました。ミアケザサ（見明笹）のようです。純粋な種ばかりかは？（雑種がある）葉の両面は無毛。鼻のいい人は折った瞬間匂いがするそうです。鞘には細かな毛。高さは 2mぐらいまで。節は球状に膨らみます。西谷には多く分布するようです。「ちまき」にも利用されていたとか。ご参考に！

ミアケザサ（多分）

※予告「両生類セミナー・卵塊数調査」２月 23 日（日）に決定しました。ご予定を！

次回活動日 12 月 22 日（日）午前作業・午後納会「夢プラザ」１月 11 日（土）１月 26 日（日）協働？